

令和 4 年 12 月 22 日

日本学術会議 化学委員会無機化学分科会(第 25 期・第 7 回)議事録

日時: 令和 4 年 12 月 22 日(木) 9:10~9:45

会場: 日本学術会議6C-1 会議室+遠隔会議 (Zoom) (ハイブリッド形式)

出席者(敬称略): (委員長)長谷川 美貴、(副委員長)伊東 忍、(幹事)西原 寛、井頭 麻子、
内田 さやか、加藤 昌子、北川 進、唯 美津木、谷口 功、山内 美穂、
欠席者(敬称略): 北川 宏、酒井 健、田中 晃二、所 裕子、山下 正廣

座長: 長谷川美貴(委員長)

議 事

(1)前委員会議事録確認

【報告事項】

(1)国際ガラス年 2022 記念シンポジウム(令和 4 年 9 月 30 日 ハイブリッド形式)開催報告
(長谷川 美貴)

詳細については既に報告済み。

外部からの ON-LINE 出席者も多く、総じて成功裏のうちに終了した。

(2)学術の中長期研究戦略に関する進捗報告(北川 宏、代理説明:長谷川美貴)

名称:元素戦略 2.0:融合的元素活用と元素循環

提案分野:理工・工学

提案のキーワード:元素科学、元素精密配置、元素融合型物質、元素循環

元素データベースビジョンの概要:従来の各論的アプローチから脱し、あらゆる元素を自在に組み合わせることで元素の未知の特性を引き出し、真に新しい物質の高効率かつ持続可能な創製へと繋げる。具体的には、「原子操作・化学増幅・準安定相活用による元素融合型物質創成」「元素循環」に関する研究を異分野融合により推進し、これらの協奏により既存の物質観にとらわれない革新的機能を持つ新物質・新材料を創出するための学術基盤と技術を確立する。

総経費:2000 億円/10 年

WG メンバー:阿部竜(京大工)、植村卓史(東大工)、内田さやか(東大総合文化)、
陰山洋(京大工)、高橋啓介(北大理)、茶谷直人(阪大環境セ)、鳶巢守(阪大工)、
畠山琢次(京大理)、矢田陽(産総研)、山内美穂(九大先導研)、依光英樹(京大理・WG 長)
北川宏(京大理・オブザーバー)、茶谷直人(大阪大学・申請代表者)

(3)その他

第 186 回日本学術会議総会報告(西原 寛)

「日本学術会議のありかたについての方針」について

ホームページを参照されたい。

【審議事項】

(1)2022 年度 第 2 回勉強会

開催日時:令和 5 年 4 月下旬

テーマ:炭素材料

担当:唯美津木

(2)その他

なし

以上

文責: 伊東 忍(大阪大学)